

マウス cDNA クローンの利用許諾開始について

理化学研究所（小林俊一理事長）は平成13年8月27日から、全長シーケンスを完了し、機能アノテーション（機能注釈）情報を付与した“マウス完全長 cDNA クローン”の利用許諾を開始します。利用許諾にあたっては、理研ベンチャー*1である「株式会社ダナフォーム（林利藏社長）*2」を通じて行います。

マウス完全長 cDNA クローンは、理研横浜研究所のゲノム科学総合研究センター（和田昭允センター所長）が中心となり取得し、解析を行ったもので、今回、利用許諾の対象となるのは、理研ホームページ（<http://www.gsc.riken.go.jp/e/FANTOM/>）に公開されている21,076cDNA クローンです。

なお、利用方法、利用条件、利用料金などについては同日より、（株）ダナフォームのホームページ（<http://www.dnaform.jp/>）上で公開される予定です。

1. 利用許諾するマウス完全長 cDNA クローン

利用許諾するクローンは、マウス完全長 cDNA ライブラリより単離後、全長シーケンスを完了し、機能アノテーション*3を付与した21,076のcDNA クローンセットです。なお、個別クローンについては、本年11月を目途に提供を行う予定です。

2. 今後の予定

当研究所では、今後も「マウス遺伝子エンサイクロペディア計画」の一環として、マウス完全長 cDNA クローンの取得と、その全長シーケンスを進めるとともに、機能アノテーションを付与し、その研究成果を公開していきます。また、公開したクローンは、順次、希望者に利用許諾していく予定です。

（問い合わせ先）

独立行政法人理化学研究所
研究業務部

前川 治彦

Tel : 048-467-9762 / Fax : 048-462-4609

（報道担当）

独立行政法人理化学研究所 広報室

嶋田 庸嗣

Tel : 048-467-9272 / Fax : 048-462-4715

※1 「理研ベンチャー」

当研究所では、今後も「マウス遺伝子エンサイクロペディア計画」の一環として、マウス完全長 cDNA クロンの取得と、その全長シーケンスを進めるとともに、機能アノテーションを付与し、その研究成果を公開していきます。また、公開したクローンは、順次、希望者に利用許諾していく予定です。

※2 「(株)ダナフォーム(東京都千代田区永田町、資本金:2,630 万円)」

(株)ダナフォームは、平成 10 年 9 月、理研の研究成果の技術移転を促進するために設立されました。当研究所は、同社に対して完全長 cDNA クロンを作製する特許技術ならびに当研究所の保有するマウス完全長 cDNA クロンの利用の許諾契約を締結しています。

(問い合わせ先 : FANTOM@dnaform.co.jp)

※3 「機能アノテーション」

既知遺伝子との類似性情報、遺伝子産物であるタンパク質のモチーフ情報 (2 次構造あるいはそれらの組み合わせの構造情報)、染色体上の位置情報、「GENE ONTOLOGY CONSORTIUM (ショウジョウバエ、酵母、マウスの研究者らが集まって、遺伝子 (gene) の定義について、Gene Ontology という形で分類分けをする作業を行っている組織)」によって決められた遺伝子の属性分類など、cDNA とその遺伝子産物(タンパク質)の機能に関する情報を指します。